

Lアラートの運用状況について

1. サービス利用者の現状



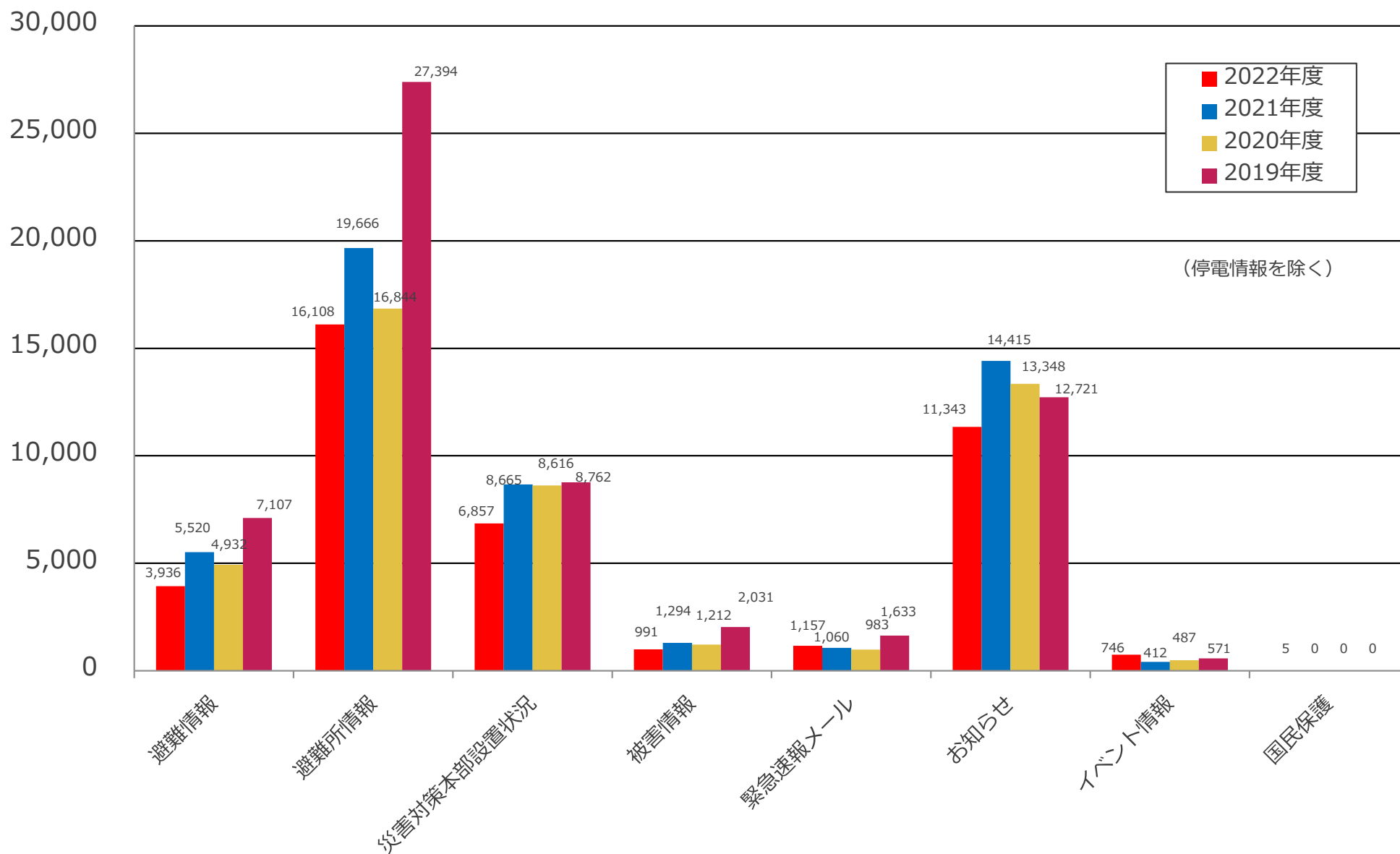
(2023年3月30日現在)

利用者区分	主たる業務の分類		加入数	備考		
情報発信者 (括弧内は避難情報発信者数)	自治体	都道府県	(47)	47	()内は本番運用数 ※河川情報センター、独立 行政法人水資源機構、一般 社団法人無線LANビジネス 推進連絡会	
		政令指定都市	(13)	13		
		市町村	(312)	312		
		その他	(3)	3		
	国		(13)	14		
	交通事業者		(5)	7		
	ラインフライン事業者	通信	(7)	7		
		ガス	(88)	92		
		電力	(3)	3		
	その他の情報提供機関(※)		(3)	3		
情報発信者合計		(494)	501			
情報伝達者	特定	放送事業者	広域・県域・エリア放送局	129	計 687	計 748
			CATV	294		
			AMラジオ	15		
			FMラジオ	50		
			短波ラジオ	1		
			コミュニティFM	194		
			有線ラジオ	4		
	新聞社	59	計 61	計 153		
	通信社	2				
	一般	ポータル・アプリ、サイネージ、その他	3			
		都道府県・市町村	115			
情報伝達者合計			901			
特別利用者			6	トライアル参加4社を含む		
協力事業者	特定		9			
	一般		45			
	協力事業者合計		54			
加入団体数合計			1,395	重複登録除く		

※本ページは諮問委員会でのご指摘を受けて修正（V-Lowの削除）しております。

2. 2022年度の発信状況（情報種別ごと）

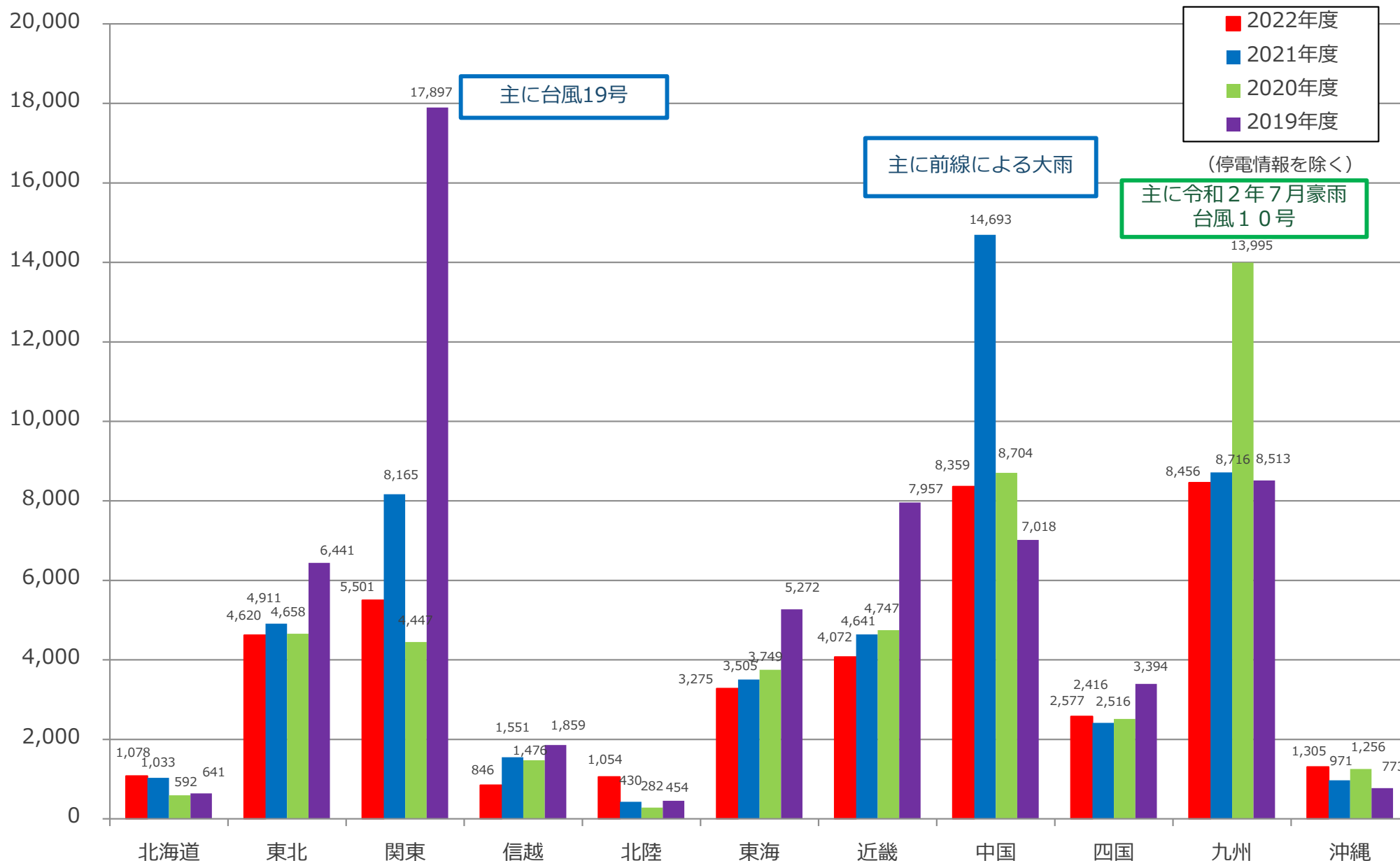
今年度のLアラートへの情報発信は41,143件あり、昨年度（51,032件）に比較して2割程度少なかった。



3. 2022年度の発信状況（地域別）

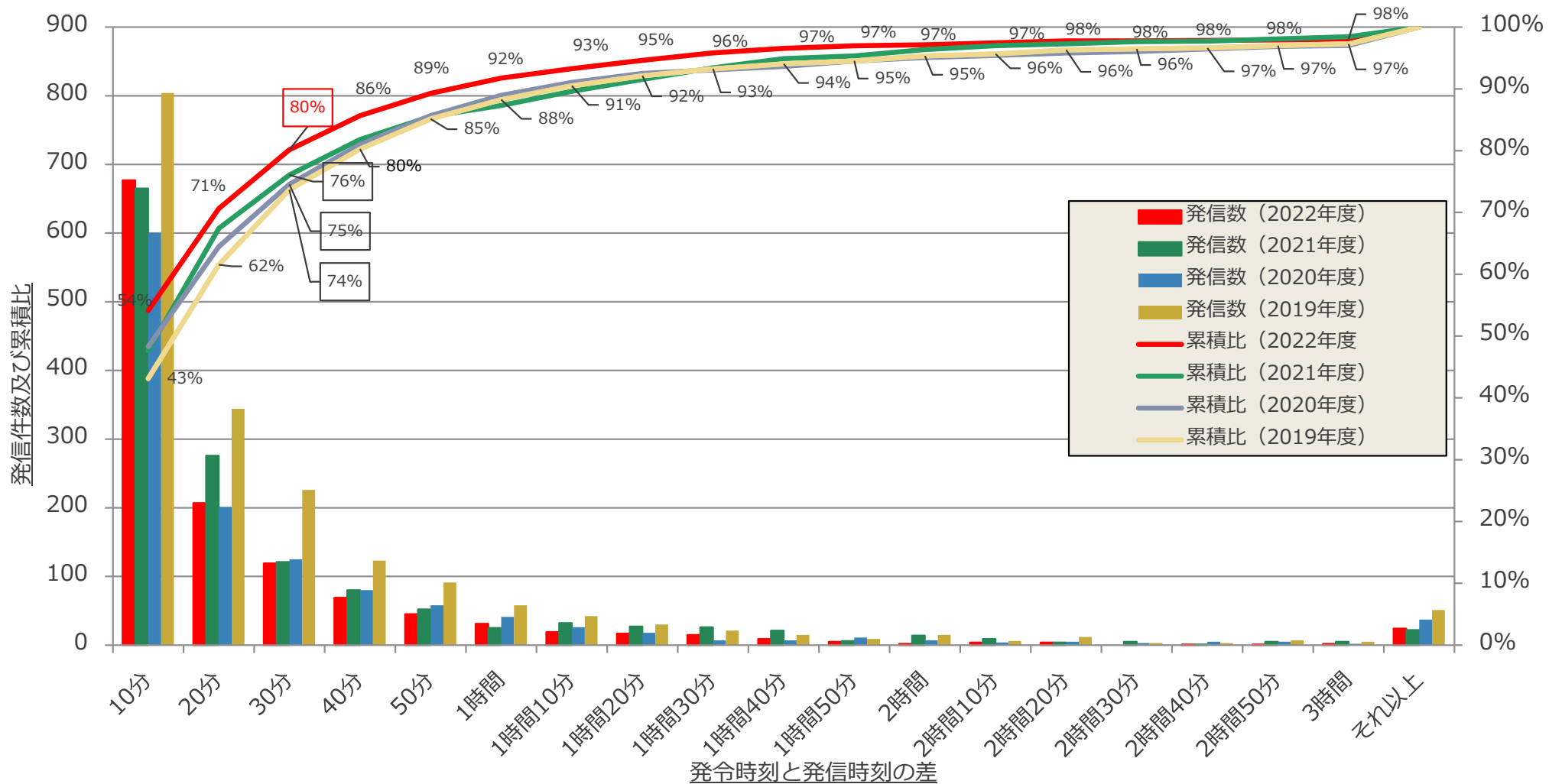


全体の発信件数は増えていないが、北海道地方や東北地方及び北陸地方では記録的な大雨により発信件数が増えている。



4. 避難情報（初報）の発令時刻と発信時刻との差

■ 昨年度は、避難情報の80%が発令時刻からLアラートへの発信までに30分以内に発信されており、前年度までと比較して向上が見られる。



5. 令和4年台風15号関連のアラートへの発信状況 (2022年9月23日00:00~9月24日24:00)

○災害状況について

台風第15号は、9月23日09時に室戸岬の南約300キロで発生後、北東進し、近畿地方や東海地方に接近した後、24日09時に東海道沖で温帯低気圧に変わった。台風周辺の発達した雨雲により、東日本の太平洋側を中心に大雨となり、静岡県や愛知県では、23日夕方から24日明け方にかけて線状降水帯が発生し記録的な大雨となった。特に、静岡県では猛烈な雨が降り続き、記録的短時間大雨情報を多数発表した。また、複数の地点で24時間雨量が400ミリを超えて平年の9月1か月分の雨量を上回り、観測史上1位を更新した。(内閣府「令和4年台風第15号による被害状況等について」より)

○台風関連の情報発信件数（9月23日~26日）

情報発信件数合計：1,537件

避難情報146件（警戒レベル5 浜松市、磐田市、袋井市：14件を含む）、避難所情報：319件、

災対本部設置状況:184件、停電情報：759件

お知らせ:63件（市町村からのお知らせ:14件、海の安全情報:49件）、被害情報:51件、水位周知河川:15件)

○情報発信を行った団体数 137団体

地方公共団体：129団体（16県）

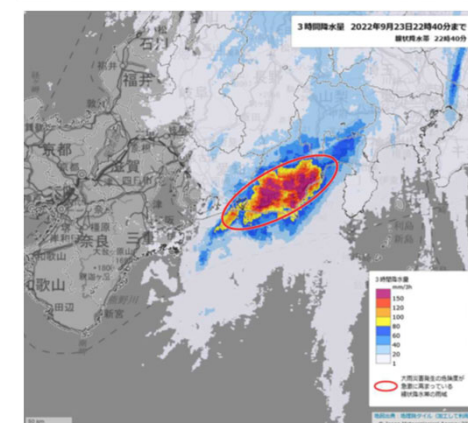
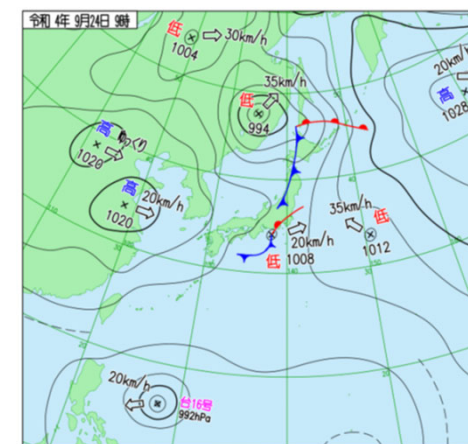
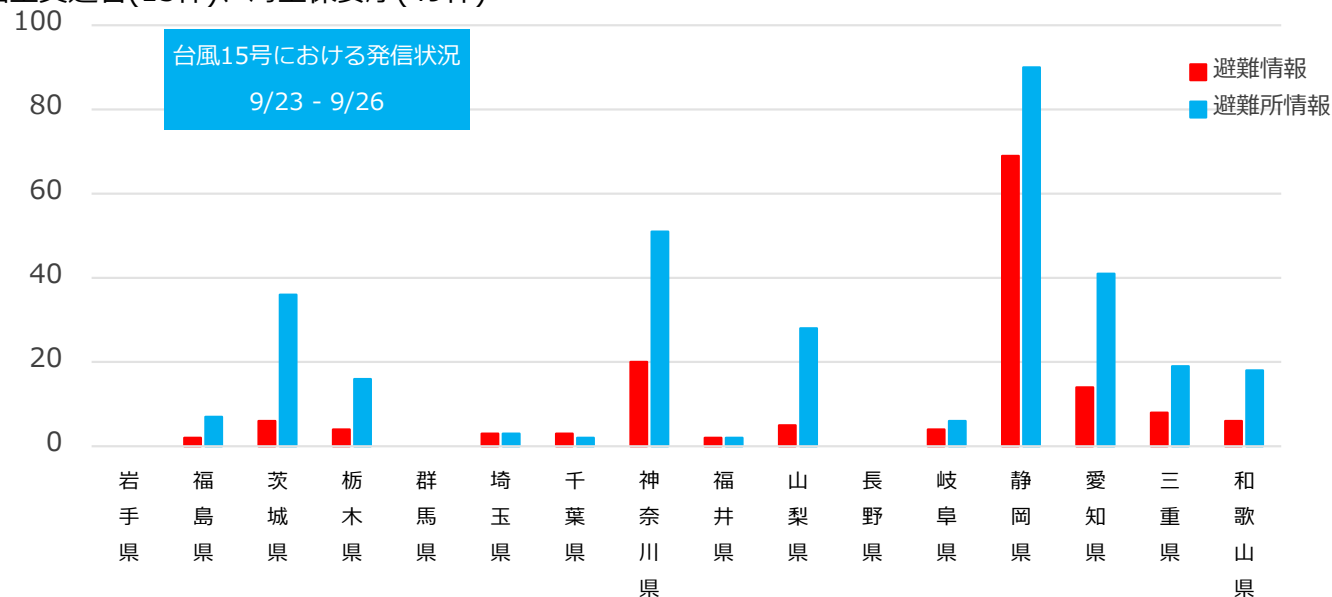
ライフライン事業者:6団体

NTTドコモ(4件)、KDDI(16件)、ソフトバンク(7件)

東京電力パワーグリッド(499件)、中部電力(235件) 関西電力(25件)

国関係：2団体

国土交通省(15件)、海上保安庁(49件)



気象庁「令和4年台風第15号による大雨」(令和4年11月2日)より